

Year: 1994
Location: Japan
Program:

デンティストの家



細長い長方形の敷地の短辺方向を2等分し、南側半分を外部空間、残り半分を内部空間としている。地盤が悪く、全体をRC造にすると杭工事が必要になるため、全体をできる限り軽量化すべく床を木造とし、RCのキャンティレバーの壁2枚と円形コアで水平力を負担している。南側は、閉鎖的なコートヤードとするのではなく、最低限のプライバシーを守りながらも、風や木漏れ日を通すアイビー・スクリーンとしている。